

社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備） 事後評価書

平成28年12月22日

計画の名称	清瀬市公共下水道整備計画			
計画の期間	平成23年度 ～ 平成27年度（5年間）	交付対象	東京都 清瀬市	
計画の目標				

下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。

計画の成果目標（定量的指標）	①重要な管渠の地震対策実施率を12%（H23）から34%（H25）に増加させる。 ②下水道による都市浸水対策達成率0%（H23）から11%（H27）に増加させる。 ③長寿命化計画策定率を0%（H23）から100%（H26）に増加させる。 ④長寿命化対策工事実施率0%（H26）から100%（H27）に増加させる。			
----------------	---	--	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考						
	当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)							
①重要な管渠の地震対策実施率 重要な管渠のうち、耐震化または減災対策が行われている延長/重要な管渠の延長（30.7km）	12%	34%	34%							
②下水道による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済み面積/浸水対策を実施すべき面積（1,019ha）	0%	7%	11%							
③長寿命化計画策定率 計画策定済み面積/計画を策定すべき面積（140.8ha）	0%	0%	100%							
④長寿命化対策工事達成率 長寿命化対策完了済み延長/長寿命化対策を実施すべき管路延長（0.3km）	0%	0%	100%							
全体事業費	合計 (A+B+C)	1,220	A	1,220	B	0	C	0	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)	0.0%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	事後評価の実施時期
事後評価の実施体制	平成28年10月
清瀬市公共下水道事業評価実施要綱に基づき、都市基盤及び防災分野の部課長で構成される清瀬市公共下水道事業評価委員会が事後評価書の評価を行った。	公表の方法
	清瀬市ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H23	H24	H25	H26	H27		
No. 1荒川右岸処理区																	
A1-1-1	下水道	一般	清瀬市	直接	-	分流	改築	清瀬旭が丘・下宿地区（地震対策）	L=3.4km 管口可とう化	清瀬市						68	地震対策緊急整備計画
A1-1-2	下水道	一般	清瀬市	直接	-	分流	改築	清瀬北部9号幹線及び中清戸地区（地震対策）	L=0.8km 管口可とう化	清瀬市						11	地震対策緊急整備計画
A1-1-3	下水道	一般	清瀬市	直接	-	分流	改築	清瀬南部8号幹線及び下清戸地区（地震対策）	L=0.2km 管口可とう化	清瀬市						6	地震対策緊急整備計画
A1-1-4	下水道	一般	清瀬市	直接	-	分流	改築	清瀬南部2号幹線（地震対策）	L=0.6km 管口可とう化	清瀬市						18	地震対策緊急整備計画
A1-1-5	下水道	一般	清瀬市	直接	-	分流	改築	清瀬北部6号幹線及び中里・上清戸地区（地震対策）	L=1.0km 管口可とう化	清瀬市						22	地震対策緊急整備計画
A1-1-6	下水道	一般	清瀬市	直接	-	分流	新設	柳瀬川右岸5号雨水幹線（浸水対策）	L=0.3km	清瀬市						1000	
A1-1-7	下水道	一般	清瀬市	直接	-	分流	改築	清瀬松山区（地震対策）	L=0.7km 管口可とう化	清瀬市						7	地震対策緊急整備計画
A1-1-8	下水道	一般	清瀬市	直接	-	分流	改築	長寿命化計画策定	長寿命化計画策定	清瀬市						43	長寿命化支援制度
A1-1-9	下水道	一般	清瀬市	直接	-	分流	改築	下水道基本計画策定(雨水)	雨水全体計画策定	清瀬市						16	
A1-1-10	下水道	一般	清瀬市	直接	-	分流	改築	長寿命化対策工事	管きょ更生0.3km、蓋交換55箇所	清瀬市						29	長寿命化支援制度
											合計	1220					
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H23	H24	H25	H26	H27			
											合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H23	H24	H25	H26	H27		
C1-1-1	活動支援	一般	清瀬市	直接		浸水対策	雨水流出抑制対策	雨水浸透柵設置の市助成の一部を助成	清瀬市						0	
										合計				0		
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
C1-1-1	基幹事業の浸水対策エリア内における、各戸への雨水浸透柵設置の市助成の一部を助成することで雨水浸透柵設置を促進し、雨水の流出抑制及び浸水域の削減を図る。															

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 重要な管渠の地震対策を推進し地震時の流下機能を確保した。（施工時の調査の結果、管口の可とう化をする必要がなかった管渠は3.7kmであった。） 雨水幹線の整備により中里五・六丁目地内の浸水対策率を向上した。 管渠の長寿命化対策を行うことにより管渠の延命化をした。 													
II 定量的指標の達成状況	指標① 重要な管渠の地震対策実施率（%）	最終目標値	34%	目標値と実績値に差が出た要因	重要な管渠の地震対策は達成した。 [目標値の算出]10.4km ÷ 30.7km = 34% [実績値の算出]10.4km ÷ 30.7km = 34%										
		最終実績値	34%												
	指標② 下水道による都市浸水対策達成率（%）	最終目標値	11%	目標値と実績値に差が出た要因	雨水幹線を布設するにあたり、地下埋設物の詳細な調査が必要になり事業の進捗が遅れたため目標値と実測値に差が生じた。 [目標値の算出]115ha ÷ 1019ha = 11% [実績値の算出]27ha ÷ 1019ha = 3%										
		最終実績値	3%												
	指標③ 長寿命化計画策定率（%）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	計画どおり長寿命化計画を策定した。 [目標値の算出]140.8ha ÷ 140.8ha = 100% [実績値の算出]140.8ha ÷ 140.8ha = 100%										
		最終実績値	100%												
	指標④ 長寿命化対策工事達成率（%）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	計画どおり長寿命化対策を実施した。 [目標値の算出]0.3km ÷ 0.3km = 100% [実績値の算出]0.3km ÷ 0.3km = 100%										
		最終実績値	100%												
III 定量的指標以外の交付対象の効果の発現状況 （必要に応じて記述）															

3. 特記事項（今後の方針等）

※①～④は、定量的指標と対応
①重要な管渠（30.7km）のうち、緊急輸送路や防災拠点から排水を受ける管渠（10.4km）については、本計画期間の中で緊急整備事業として達成した。残る重要な管渠（20.3km）は、今後、③④ストックマネジメント計画（長寿命化計画）の中で、地震対策の必要な箇所を実施していく。

②浸水対策となる雨水幹線整備事業は、地下埋設物調査のため、1年間遅延することとなったが、市民の安全・安心のため、引き続き事業を推進していく。

③④改築・更新事業としては、今後はストックマネジメント支援制度を活用し、老朽化した施設の点検・調査結果に基づいて、改築を実施していく。